

県の新年度予算、過去最大となる1兆 7,770 億円を計上！



福岡県の2015（平成27）年度当初予算案が取りまとめられ、県議会に上程、審議されます。

一般会計総額は、前年度当初予算より1,052億円増え、1兆7,770億円となり、過去最大となります。

新年度の主な政策としては、景気の着実な回復に向けて小規模事業者を資金面で支援する「基金」を新たに設けるなど、中小企業へ融資を拡充するための費用1,078億円。市町村の空き庁舎や廃校などを企業誘致に活用し

てもらうための施設改修費用助成金4,530万円。福岡空港の滑走路増設や北九州空港の駐機場の整備に対する地元負担金15億円。全国ワースト2位の性犯罪被害の対策として24時間体制で被害者からの電話相談に対応する費用3,170万円などが計上されています。

また、歳入面では、景気の回復傾向を受けて県税収入は8,049億円と昨年度より率にして26%増え、過去最高になると見込んでいます。

これら新年度予算については、「予算特別委員会」で審議されます。私も委員として、しっかりと審議に尽くします。

ユネスコ世界遺産登録に向け、「明治日本の産業革命遺産」を視察。

大牟田市「三池港」の「閘門」視察



福岡県議会「民主党・県政クラブ県議団」は、今期（2015年4月～2019年3月）初となる管内視察を行いました。

今回は、現在、日本政府・福岡県ならびに関係県市が「ユネスコ世界遺産登録」を進めている『明治日本の産業革命遺産』のうち、九州・山口遺産群のひとつである大牟田市の「三池港」、「三池炭鉱」。そして、「官営八幡製鉄所」（日本事務所、修繕工場、旧鍛冶工場）を視察

し、新年度予算審議を伴う『6月県議会』の代表質問に視察結果を活かすとともに、「ユネスコ世界遺産登録」を確かなものにするため、今後の活動強化を図ることにありました。

視察報告はホームページに記載していますのでご覧ください。 <http://3.haranaka.jp/pg672.html>

労働者保護ルールの改悪にストップ！ 働く人々の生活と健康と権利を守りましょう！



いま、政府は、成長戦略の名のもと、解雇の金銭解決制度の導入、クビにしやすい限定正社員制度の普及、過労死を増大させる懸念のあるホワイトカラー・エグゼンプション。更には、正社員ゼロ＝生涯派遣で低賃金のルール改正となる「派遣法改正」など、働く人たちの雇用や健康をおびやかすような「労働者保護ルール」（労働法制）の改悪を行おうとしています。

県内の労働者は約167万5千人。もし、このまま労働者保護ルールが改悪されることになれば、大企業、中小企業を問わず、働く人たちの勤務労働条件は大変厳しいものとなります。

働く者の犠牲の上に成長戦略を描くことなど決して許されるものではありません。「労働者保護ルール」（労働法制）の改悪にストップをかけましょう！

<< facebook、LINE、Twitter でつながりましょう！ >>

ホームページはもとより、facebook、LINE、Twitter を活用し、日常活動をお伝えしています。皆様との意見交換、またご意見、ご提言をお待ちしております！！